

R7.9.1(月)実施

日南看護専門学校

成人看護学方法論 5 試験問題 (2025 年) 永吉先生

学籍番号

1. 「標準予防策」と「感染経路別予防策」について、正しいものには○、間違っているものには×を()内に記入してください。

- (×) ①標準予防策は感染症のある患者にのみ行う対策である。
- (×) ②手袋を外した後の手はきれいであり、手指衛生の必要はない。
- (○) ③マスクの使用目的の一つに着用者が鼻粘膜に触れることを防ぐことがある。
- (○) ④感染経路別予防策は、空気予防策・飛沫予防策・接触予防策の3つである。
- (○) ⑤経路別予防策は標準予防策に追加して行う対策である。

2. 標準予防策で、感染性があるものとして取り扱うもので間違っているものはどれか、1つ選んでください。

- ①血液
- ②体液
- ✓ ③正常な皮膚
- ④粘膜

(③)

3. 空気感染をする感染症はどれか。1つ選んでください。

- ①新型コロナウイルス感染症
- ②流行性耳下腺炎
- ③風疹
- ✓ ④麻疹

(④)

4. 結核について正しいのはどれか。1つ選んでください。

- ①感染数年後に粟粒結核に進行する
- ✓ ②塗抹検査には抗酸菌染色を用いる
- ③核酸増幅検査は培養検査より時間を要する
- ④感染1週間からIGRA検査が陽性となる

(②)

5. 結核患者の看護について間違っているものはどれか。1つ選んでください。

- ✓ ①結核患者と接触した人には接触者健診を病院の判断で行う
- ②患者が病室外に出る時にはサージカルマスクを着用する
- ③内服が確実にいえるようDOTSを行う
- ④N95マスク装着時には、その都度ユーザーシールチェックを行う

(①)

6. HIV/AIDS について正しいのはどれか。1 つ選んでください。

- ✓ ①感染の要因として一番多いのは、同性間の性的接触である
- ②HIV/AIDS 患者に対して接触感染対策を行う
- ③ヒト免疫不全ウイルスが感染する細胞は CD8 陽性細胞である
- ④HIV は粘膜の接触では感染はしない

(①)

7. 性感染症について間違っているものはどれか。1 つ選んでください。

- ①令和 2 年までの性感染症発生動向調査では、梅毒が一番多く報告されている
- ②性感染症に罹患した場合、パートナーの検査や治療が必要
- ③性感染症は 1 種類のみでなく、他の感染症を合併していることが多い
- ✓ ④令和 2 年、梅毒の感染者数は 1 万人を突破した

(~~④~~)

8. 新興感染症について正しいものはどれか。1 つ選んでください。

- ①新興感染症とは、以前から存在して近年再び増加してきた感染症のことである
- ②SFTS は北海道などの寒い地域での感染が多くみられる
- ③新興感染症の代表のとして結核があげられる
- ✓ ④新型コロナウイルス感染症は新興感染症の 1 つである

(④)

9. 日和見感染症について正しいのはどれか。1 つ選んでください。

- ✓ ①日和見感染となる要因の細菌にセラチア菌がある
- ②重症糖尿病の患者は日和見感染を発症しにくい
- ③レジオネラ菌はヒトからヒトへ感染する
- ④日和見感染は健康な人にも発症する

(①)

10. 薬剤耐性菌対策について正しいのはどれか。1 つ選んでください。

- ✓ ①風邪を引いた時には、すぐに抗菌薬を服用するのが望ましい
- ②薬剤耐性菌の発生を防止するために、手指衛生を行っても予防効果はない
- ③日本でも「薬剤耐性 (AMR) アクションプラン」が決定され、抗菌薬適正使用が推進されている
- ④病院で問題となる薬剤耐性菌の 1 つに黄色ブドウ球菌があげられる

(~~④~~)

11. 感染症患者の特徴として正しいものはどれか。1 つ選んでください。

- ①感染症に罹患すると必ず発熱がみられる
- ✕ ②高齢者は獲得免疫が動くため感染症にかかりにくい
- ✕ ③小児は免疫機能が高いため感染症にかかりにくい
- ④感染症が疑われる場合は患者に行動歴の確認も必要である

(④)